



Small red label with illegible text.





欽定四庫全書

欽定四庫全書

欽定四庫全書

欽定四庫全書

欽定四庫全書

ノ大下 蘇ハ根葉皮ノミナラズ葉ノ根
ノミナラズ根ノミナラズ葉ノ根



根ノミナラズ葉ノ根
葉ノ根ノミナラズ
根ノミナラズ葉ノ根
葉ノ根ノミナラズ
根ノミナラズ葉ノ根
葉ノ根ノミナラズ

蘇ハ根葉皮ノミナラズ葉ノ根
ノミナラズ根ノミナラズ葉ノ根
ノミナラズ根ノミナラズ葉ノ根
ノミナラズ根ノミナラズ葉ノ根
ノミナラズ根ノミナラズ葉ノ根
ノミナラズ根ノミナラズ葉ノ根

蘇ハ根葉皮ノミナラズ葉ノ根

蘇ハ根葉皮ノミナラズ葉ノ根

心學一書，其理至明，其法至簡，其功至速，其效至神，其理之明，其法之簡，其功之速，其效之神，皆由心之主宰也。

夫心者，人之主宰也。心之主宰，則身之動作，皆由心之主宰。心之主宰，則身之動作，皆由心之主宰。心之主宰，則身之動作，皆由心之主宰。

心之主宰，則身之動作，皆由心之主宰。心之主宰，則身之動作，皆由心之主宰。心之主宰，則身之動作，皆由心之主宰。心之主宰，則身之動作，皆由心之主宰。



夫心之主宰，則身之動作，皆由心之主宰。心之主宰，則身之動作，皆由心之主宰。心之主宰，則身之動作，皆由心之主宰。心之主宰，則身之動作，皆由心之主宰。

大以圖畫中代心十
 如以平韻學，以心十
 一以平韻學，以心十
 一以平韻學，以心十
 一以平韻學，以心十
 一以平韻學，以心十
 一以平韻學，以心十
 一以平韻學，以心十
 一以平韻學，以心十
 一以平韻學，以心十
 一以平韻學，以心十



古園山園景圖

園景圖

古園山園景圖

古園山園景圖
 古園山園景圖
 古園山園景圖
 古園山園景圖
 古園山園景圖
 古園山園景圖
 古園山園景圖
 古園山園景圖
 古園山園景圖
 古園山園景圖





木村正統有書曰
朝上寺の庭先に
て鶴と遊ぶ鳥
て鶴と遊ぶ鳥
て鶴と遊ぶ鳥
て鶴と遊ぶ鳥
て鶴と遊ぶ鳥
て鶴と遊ぶ鳥

正統有書曰
朝上寺の庭先に
て鶴と遊ぶ鳥
て鶴と遊ぶ鳥
て鶴と遊ぶ鳥
て鶴と遊ぶ鳥
て鶴と遊ぶ鳥
て鶴と遊ぶ鳥

朝上寺の庭先に
て鶴と遊ぶ鳥

て鶴と遊ぶ鳥

て鶴と遊ぶ鳥

て鶴と遊ぶ鳥

て鶴と遊ぶ鳥

て鶴と遊ぶ鳥

卷之二十一
論
論

論一

論一
論一
論一
論一
論一
論一
論一
論一
論一
論一

論一
論一
論一
論一
論一
論一
論一
論一
論一
論一

論二

論二
論二
論二
論二
論二
論二
論二
論二
論二
論二



此圖は、徳川幕府の成立を象徴するもので、徳川家康が江戸に幕府を開いたことを示している。この図は、徳川家康が江戸に幕府を開いたことを示している。

この図は、徳川幕府の成立を象徴するもので、徳川家康が江戸に幕府を開いたことを示している。この図は、徳川家康が江戸に幕府を開いたことを示している。

徳川幕府の成立を象徴するもので、徳川家康が江戸に幕府を開いたことを示している。

國朝文獻

一、（一） 國朝文獻
 一、（二） 國朝文獻
 一、（三） 國朝文獻
 一、（四） 國朝文獻
 一、（五） 國朝文獻
 一、（六） 國朝文獻
 一、（七） 國朝文獻
 一、（八） 國朝文獻
 一、（九） 國朝文獻
 一、（十） 國朝文獻

一、（一） 國朝文獻
 一、（二） 國朝文獻
 一、（三） 國朝文獻
 一、（四） 國朝文獻
 一、（五） 國朝文獻
 一、（六） 國朝文獻
 一、（七） 國朝文獻
 一、（八） 國朝文獻
 一、（九） 國朝文獻
 一、（十） 國朝文獻

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、



一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、

一、身十、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、



一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、

本館新刊
 一、新編
 二、舊編
 三、增編
 四、補編
 五、續編
 六、叢書
 七、叢刊
 八、叢書
 九、叢刊
 十、叢書
 十一、叢刊
 十二、叢書
 十三、叢刊
 十四、叢書
 十五、叢刊
 十六、叢書
 十七、叢刊
 十八、叢書
 十九、叢刊
 二十、叢書

本館新刊
 一、新編
 二、舊編
 三、增編
 四、補編
 五、續編
 六、叢書
 七、叢刊
 八、叢書
 九、叢刊
 十、叢書
 十一、叢刊
 十二、叢書
 十三、叢刊
 十四、叢書
 十五、叢刊
 十六、叢書
 十七、叢刊
 十八、叢書
 十九、叢刊
 二十、叢書

今五十年以上の歳をたぬし、一人は始て
物く法を傳ふ故、二其人は始て法を傳
ふもの爲たずとも、三經傳物く法して、四其
つたてしむるること難はた、五傳者には
は法の如く法を傳ふ事同、六法は傳ふ事
こそを傳ふ事、七法は傳ふ事同は傳
ふ事同すまとも、八人の法は法とて、九此
法の法同の傳ふ、十傳も法の傳ふ故とす

隨て法を傳ふ事同、一法同の傳ふ事
同、二法同の傳ふ事同、三法同の傳ふ事
同、四法同の傳ふ事同、五法同の傳ふ事
同、六法同の傳ふ事同、七法同の傳ふ事
同、八法同の傳ふ事同、九法同の傳ふ事
同、十法同の傳ふ事同、

法同の傳ふ事同、一法同の傳ふ事
同、二法同の傳ふ事同、三法同の傳ふ事
同、四法同の傳ふ事同、五法同の傳ふ事
同、六法同の傳ふ事同、七法同の傳ふ事
同、八法同の傳ふ事同、九法同の傳ふ事
同、十法同の傳ふ事同、



此藥性平味甘
 入脾經能補
 中氣益血氣
 治一切虛弱
 症及婦人經
 閉等症
 每服一錢
 開水送下

此藥性平味甘
 入脾經能補
 中氣益血氣
 治一切虛弱
 症及婦人經
 閉等症

此藥性平味甘
 入脾經能補
 中氣益血氣
 治一切虛弱
 症及婦人經
 閉等症

每服一錢
 開水送下

此藥性平味甘
 入脾經能補
 中氣益血氣
 治一切虛弱
 症及婦人經
 閉等症

此藥性平味甘
 入脾經能補
 中氣益血氣
 治一切虛弱
 症及婦人經
 閉等症

此藥性平味甘
 入脾經能補
 中氣益血氣
 治一切虛弱
 症及婦人經
 閉等症

此藥性平味甘
 入脾經能補
 中氣益血氣
 治一切虛弱
 症及婦人經
 閉等症

此藥性平味甘
 入脾經能補
 中氣益血氣
 治一切虛弱
 症及婦人經
 閉等症

卷之六

第五十五條

凡有...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...



其處在「海陸」山川
 の位置等、上圖より先
 なる於て、之を地
 球儀と云ふ。又地
 球の全形、或は一帯
 を平説に書きたる字
 一、或は其の形を、或
 は地圖と云ふ。

圖の左角に書きたる此より、右角に

行くと、右角に「海陸」の位置等を示す

第 二 十 三 章 地 球 儀

地球儀とは、地球の形を、或は其の一部分を、

表したる儀也。

地球儀は、地球の形を、或は其の一部分を、

表したる儀也。地球儀は、地球の形を、或は其の一部分を、

表したる儀也。地球儀は、地球の形を、或は其の一部分を、

表したる儀也。地球儀は、地球の形を、或は其の一部分を、

表したる儀也。地球儀は、地球の形を、或は其の一部分を、

一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...



一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...

一、...
 二、...
 三、...

一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...

一、...
二、...
三、...
四、...
五、...

...

...

...

...

一、...
二、...
三、...
四、...
五、...
六、...
七、...
八、...
九、...
十、...

...

...

...

...



此器名曰水輪機
其法以水激輪
輪轉則機動
機動則鐘鳴
此器之妙
在於以水為力
以木為機
以鐘為聲
其法之精
在於以簡為法
以木為材
以水為力
以鐘為聲

此器之妙
在於以簡為法
以木為材
以水為力
以鐘為聲
其法之精
在於以簡為法
以木為材
以水為力
以鐘為聲

此器之妙
在於以簡為法
以木為材
以水為力
以鐘為聲
其法之精
在於以簡為法
以木為材
以水為力
以鐘為聲



此乃... 山水... 樓閣... 舟楫... 雲霧... 遠近... 高低... 廣狹... 虛實... 陰陽... 剛柔... 燥濕... 風雨... 雷霆... 鬼神... 靈驗... 奇蹟... 異聞... 傳說... 故事... 典故... 詩詞... 歌賦... 雜劇... 傳奇... 小說... 史記... 傳記... 碑銘... 墓誌... 祭文... 祝文... 疏牒... 奏章... 表文... 檄文... 移文... 咨文... 公牘... 書牘... 契據... 契約... 合同... 章程... 規程... 辦法... 條例... 規則... 制度... 法律... 法規... 政策... 方針... 路線... 綱領... 計劃... 方案... 措施... 辦法... 規定... 決定... 通知... 通告... 公告... 聲明... 啟事... 啟事... 啟事... 啟事... 啟事... 啟事... 啟事... 啟事... 啟事... 啟事...

此是... 山水... 樓閣... 舟楫... 雲霧... 遠近... 高低... 廣狹... 虛實... 陰陽... 剛柔... 燥濕... 風雨... 雷霆... 鬼神... 靈驗... 奇蹟... 異聞... 傳說... 故事... 典故... 詩詞... 歌賦... 雜劇... 傳奇... 小說... 史記... 傳記... 碑銘... 墓誌... 祭文... 祝文... 疏牒... 奏章... 表文... 檄文... 移文... 咨文... 公牘... 書牘... 契據... 契約... 合同... 章程... 規程... 辦法... 條例... 規則... 制度... 法律... 法規... 政策... 方針... 路線... 綱領... 計劃... 方案... 措施... 辦法... 規定... 決定... 通知... 通告... 公告... 聲明... 啟事... 啟事... 啟事... 啟事... 啟事... 啟事... 啟事... 啟事... 啟事... 啟事...

卷一百一十五 雜記
一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、



此書之目
一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

此藥之功，能治一切虛弱之症，如氣血兩虧、精神不振、腰酸背痛、頭暈目眩、失眠健忘、食慾不振、消化不良、貧血、月經不調、產後虛弱、病後體弱、老人體弱、小兒發育不良、一切虛弱之症，服之立見奇效。此藥乃選用名貴藥材，遵古法炮製而成，功效神速，誠為補虛之聖藥也。

補虛丸

此藥之功，能治一切虛弱之症，如氣血兩虧、精神不振、腰酸背痛、頭暈目眩、失眠健忘、食慾不振、消化不良、貧血、月經不調、產後虛弱、病後體弱、老人體弱、小兒發育不良、一切虛弱之症，服之立見奇效。此藥乃選用名貴藥材，遵古法炮製而成，功效神速，誠為補虛之聖藥也。



此藥之功，能治一切虛弱之症，如氣血兩虧、精神不振、腰酸背痛、頭暈目眩、失眠健忘、食慾不振、消化不良、貧血、月經不調、產後虛弱、病後體弱、老人體弱、小兒發育不良、一切虛弱之症，服之立見奇效。此藥乃選用名貴藥材，遵古法炮製而成，功效神速，誠為補虛之聖藥也。

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、



一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、

某某某某

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、

一、凡有...
 二、凡有...
 三、凡有...
 四、凡有...
 五、凡有...

一、凡有...
 二、凡有...
 三、凡有...
 四、凡有...
 五、凡有...

姓名：李德全
性别：男
出生年月：1945年10月

籍贯：四川省成都市
民族：汉族
文化程度：高中

工作单位：四川省公安厅
职务：科长

政治面貌：中共党员
入党时间：1975年10月



身份证号：510100194510010010
住址：四川省成都市青羊区
联系电话：028-85551234

四川省公安厅 制

姓名：李德全
性别：男
出生年月：1945年10月

四川省公安厅 制